


クラス	C107	担当教員	谷地宣亮
	テーマ	地域金融について考える	
	著書・論文 研究課題等	【論文】「信用金庫の存在意義に関する再考察」『日本福祉大学経済論集』第60号、2020年。 「協同組織の規制と課題」『月刊金融ジャーナル』2016年8月号。 【その他】「Part I 識者に聞く『三大条件』（総特集 信金・信組 生き残りの条件）」『月刊金融ジャーナル』2018年8月号。 【研究課題】信用金庫・信用組合の存在意義	

ゼミナール概要

キーワード：地域金融機関、地域密着型金融（リレーションシップバンキング）、中小企業、地域経済

目的、内容、方法等：

[目的]

いま、地域金融機関（地方銀行、信用金庫、信用組合など）は、従来のように預金を集めてそれを貸し出すという単なる「金貸し」としての役割を果たすだけではなく、取引先企業に対する創業・新事業支援、経営相談・支援、再生支援、事業承継支援などのコンサルティング機能を果たすこと、さらにはそのような取組みを通じて地域経済の活性化・地方創生に貢献することが求められている。

このゼミでは、地域経済の現状と課題、地域金融機関に求められる役割などについて、自分なりに考えることができるようになることを目的とする。

3年の前期には愛知銀行さんとのコラボ企画（内容は未定）を展開したいと考えている。ただし、相手があることなので確約はできない。

[内容]

○2年後期

(1) NHKスペシャル「“魚の町”は守れるか～ある信用金庫の200日～」の鑑賞
 ・地域金融機関のあり方について考える。

(2) テキストの輪読

・信用金庫の地域での取組みについて学ぶ。

○3年前期

愛知銀行さんとのコラボ企画（内容未定）もしくは下記(1)(2)。

(1) 地域金融機関のディスクロージャー誌などの分析

・地方銀行や信用金庫の経営理念や具体的な地域貢献活動について調べて、まとめる。

(2) 理想の金融機関についての検討

・ディスクロージャー誌などの分析を踏まえ、自分たちが理想とする地域金融機関の姿について考える。

○3年後期

各自が地域金融に関する具体的なテーマを設定し、それについて調べて報告する（＝卒論の準備）。

○4年前期・後期

3年後期からの取組みを継続し、卒業論文計画書および卒業論文を作成する。

[履修上の注意]

次の約束を守ることができる人だけエントリーしてください。

(1) 無断で欠席や遅刻をしないこと、(2) 発表する日に欠席をしないこと、(3) 提出物の期限を守ること。

[エントリーシートに記入する内容]

(1) 希望理由、(2) 自己アピール。

使用テキスト	担当教員からのメッセージ
関満博・鈴木真人編『信用金庫の地域貢献』新評論、2008年。	必ず合同説明会に参加すること。合同説明会に参加できない場合、メールでアポを取ったうえで研究室を訪問すること。説明会にも研究室にも来なかった人は採りません。